



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

社会福祉法人 美咲会	代表者 大澤 静子	法人・事業所の特徴	法人：富士見市、三芳町に拠点をもち、特養・シヨート・デイ・グループホーム・小規模多機能・地域包括(2事業)・居宅介護支援事業所の8つの介護保険事業を展開している。 事業所：外出する機会を多く持ち、ご利用者が住み慣れた地域に出て、楽しんでいただけるように支援しています。
小規模多機能ホーム みずほ苑	管理者 松田 拓央		

出席者	市町村職員 1人	地域住民・地域団体 1人	利用者 人	利用者家族 1人	地域包括支援センター 1人	近隣事業所 人	事業所職員 2人	その他 人	合計 7人
-----	-------------	-----------------	----------	-------------	------------------	------------	-------------	----------	----------

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気がかりシートを仕組化して、リスクマネジメントの強化に努めます。</li> <li>・遠方の方や仕事の都合で連絡が難しい家族とメールでのやり取りが出来るよう整備します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週金曜日に朝礼で気がかりシートを確認し、普段見逃してしまいう小さなこともみんなでき共有でき、意識の向上につながっている。</li> <li>・全利用者家族のメールでの連絡体制を整備している。何か事が生じた際は、家族へメールや電話連絡を入れて対応策などを共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔は自己評価が低かったが、最近はしっかりと評価できている。</li> <li>・本来計画して実施できていたものがコロナ禍の中でできていないため、評価しづらいところもある。全体的には取り組まれていると思う。</li> <li>・with コロナとしての関わりや取り組みを考えていく。</li> <li>・コロナにより地域との関わりが希薄になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故報告書やヒヤリ・ハットと同様に気がかりシートについて、業務日誌に対策を記入していくなどの仕組みを確立し、リスクマネジメントの強化に努めます。</li> <li>・新型コロナウイルスにより地域の資源を活かしていない。インフォマーシャルサービスの重要性を学び、その方に合った地域資源の活用を考え、地域での暮らしの支援を図っていきます。</li> </ul>
B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「7、8年目の施設にしてはきれいだね。」と言われるように、事業所内だけでなく、エレベーター内や玄関などの清掃を定期的に行い、施設全体の美化に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除チェック表をもとに、トイレ、フロア、居室の定期清掃を行っている。洗濯機やトイレの排水溝等、普段掃除できない場所も定期的に清掃をする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響のため以前よりも掃除を徹底していると思います。</li> <li>・水回りなど気になる点は意見出すことでその後キレイになった。</li> <li>・トイレにある一言メッセージなどの掲示もあり効果があるので、スリッパやソファなど玄関からきれいなになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレや水回りの普段掃除しないうち等々の定期的に行い、きれいで清潔な施設が継続できるような美化に努めます。</li> </ul>
C. 事業所と地域の かかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域の拠点施設」であるという意識の向上を図るため、事業所のあり方について職員同士で意見交換や勉強会を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を講じていたことにより事業所のあり方について話し合うことは出来なかつた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべてのイベントが自粛しているわけではない。コロナ感染対策を講じながら、パワーアップ体操を実施しているところもある。また</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインを活用したボランティアの受け入れやせきざ横丁などのサロンを再開し、地域との交流を図っていきます。</li> </ul>

<p>D. 地域に向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<p>・運営推進会議などで情報を収集し、地域のイベントや活動に出向き、ご利用者の活躍の場を設けていきます。</p>	<p>・せきざわ横丁、PU体操、地域のイベントも軒並み中止であり、地域のかかわりが希薄。 ・みずほ苑近隣や出先で地域の方々に会った際に、生活状況や要望など伺うことやちょっとした会話をしている。 ・オンラインにて学童との交流会を実施した。</p>	<p>た、挨拶するだけでも地域交流になっただけではなく、 ・社協のオンラインでの交流も地域交流の一つになっていく。 ・ZOOMの活用により、ボランティアの幅が広がってきている。</p>	
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>・運営についての報告に、ボランティアの報告も行います。また、運営推進会議の場を活用して、ボランティアの幅を増やします。</p>	<p>・新型コロナウイルスの影響によりボランティアの受け入れができませんでした。</p>	<p>・地域のイベントに認知症の方が参加することは事故が起こる可能性も高いため、参加しづらい部分があるのでは。市役所も他の事業所でいい案があれば共有してほしい。</p>	<p>・運営推進会議などで情報を収集し、新型コロナウイルスの状況に合わせて地域のイベントや活動に出向き、ご利用者の活躍の場を設けていきます。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>・地域との連携強化を図るため、事業所の防災計画について説明をする場を設けます。</p>	<p>・運営推進会議の場で事業所の防災計画について説明を行った。また、事業継続計画の作成を予定しているため、作成次第地域の方にも閲覧できるようにしていく。</p>	<p>・他の事業所はどうしているのか市の方で情報共有しているのであれば報告してほしい。 ・他の事業所の情報がないため、比較や評価が難しい。 ・町会で敬老のお祝いを配る際、1人暮らしの方の訪問時、施設に同居されており不在なこともあり、現在の生活状況の把握ができないため、そういった情報共有はセンターにも相談しながら民生委員などにも協力してもらいたいようにしていくべきか。民生委員の担い手が減ってきているのも課題となっている。</p>	<p>・地域包括や町会と連携し、地域の状況の把握と取り組みについて話し合える機会を増やします。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>・地域との連携強化を図るため、事業所の防災計画について説明をする場を設けます。</p>	<p>・運営推進会議の場で事業所の防災計画について説明を行った。また、事業継続計画の作成を予定しているため、作成次第地域の方にも閲覧できるようにしていく。</p>	<p>・評価項目に運営推進会議のメンバーが防災訓練に参加しているかとあるが、参加できていないため評価できない。 ・新型コロナウイルスの状況を踏</p>	<p>・運営推進会議後に防災訓練を計画し、事業所の取り組みや防災計画を知ってもらい地域との連携強化を図ります。</p>

				まえ、事業所の防災訓練に参加して頂いて取り組みを知って頂く予定でいる。また、コロナの状況を踏まえて地域の防災訓練に参加して頂ければと考えている。	
--	--	--	--	--	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年 10月 30日 (15:00~16:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 山田・松田・精木・猪狩

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	2人	人	人	6人

前回の改善計画	遠方の家族とも定期的に話しをする場を設け、関係づくりを強化する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・遠方の家族や電話連絡が取りにくい家族とメールでのやりとりをするようになった。</li><li>・サービス担当者会議やカンファレンスを開き、家族と意向の確認や今後について等話し合いをした。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	1			6
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	3			6
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	1			6
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	4			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・具合が悪い方にも、適切な援助が来ている。</li><li>・本人と良好な関係を築くため、朝礼時や送りの後に新規利用者の情報共有を行っている。</li><li>・初回利用時から慣れてくるまでは、特に注意して声掛けや情報共有を行っている。</li><li>・何か事が生じた際は、家族へメールや電話連絡を入れて対応策などを共有している。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・家族が必要としていても、本人が受け入れず、入浴、掃除などが出来ない。</li><li>・ケアマネが窓口のため直接家族と話せなく、うまく関係づくりが出来ない。</li><li>・家族と介護者と話をする機会が送迎以外であまりない。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	実調時に介護職員も同行し、ケアマネジャーだけではなく介護職員も利用前から関わることにより、初期支援の充実を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年 10月 30日 (15:00~16:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 山田・松田・精木・猪狩

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	人	人	人	6人

前回の改善計画	モニターで聞き取った内容を朝礼の場で必ず報告・共有し、職員全体で支援の方向性を統一出来るようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ケアマネジャーがモニターで話したことを朝礼時に職員に伝えることで情報共有ができ、方向性が決められている。また、利用者個別支援目標をステーションに掲示することにより、ご利用者のニーズを把握している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	5	1			6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4	2			6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5			6
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5	1			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回利用前に各自目標等確認している。</li> <li>・日々の関わりで、意欲やどう過ごしたいのか思いを話されることもある。</li> <li>・本人の目標を理解しながら、少しでも近づけるよう考え、相談し職員全体で支援する。変化があった時はその都度朝礼等で報告し、質の良いサービスが出来ている。</li> <li>・日々の変化は細かな事でも日誌に残し、次回に活かしていると思う。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人は家でゆっくりしたいと希望している方もいて苑の利用が本人の目的でないことが多い。その場合の対処法が不明。</li> <li>・家族と本人の目標が違うことでとまどいがある。</li> <li>・コロナウイルスの影響で体を動かしたりすることが少なくなり、体力面での目標を目指した関りが出来ていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>コロナウイルスの影響で、ご利用者のニーズに沿った支援が出来ていないこともある。With コロナの運営を明確にして、支援の幅を増やしていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年 10月 30日 (15:00~16:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 山田・松田・精木・猪狩

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	3人	人	人	6人

前回の改善計画	利用者の状態について、本人だけではなく、家族からも情報が得られるように、担当者会議にケース担当も出来るだけ出席出来るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・実調やサービス担当者会議に介護職員も同行するようになり、より具体的にケースについて知ることが出来た。また、本人の気持ちや体調の変化等、気になることはその都度職員間で情報共有が出来るようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	4			6
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	1			6
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	3			6
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6				6
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	1			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実調や担会に同行する様になり、より具体的にケースについて知ることが出来るようになった。</li> <li>・食事では、個々の希望に合わせた量を提供している。</li> <li>・排泄では、個々のペースに合わせて声掛けが出来ている。</li> <li>・本人の気持ちや体調の変化等、気になることは、その都度職員間で情報共有や相談している。また支援の内容を変更し対応している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前の暮らし方が聞くたびに話が違うため、よくわからない時がある。</li> <li>・記録に載っていない事項で不明な点が多い。</li> <li>・関りが少ない利用者の生活環境が把握しきれていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
フェイスシートの項目で聞き取れていない部分があり、その方をトータルで支援することが難しい。不明な部分はモニター時や聞き取りが出来た際に、ケース担当中心にフェイスシートに追記していく。	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年 10月 30日 (15:00~16:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 山田・松田・精木・猪狩

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	3人	人	人	6人

前回の改善計画	<p>会話を「おしゃべり」と流さず、情報として意識し、記録に残す習慣をつける。 定期的に回覧版を見て地域の活動を確認し、ステーションに掲示する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・ご利用者が参加していた自主サロンがコロナウイルスの影響で中止になっており、参加が出来ていないこともあるが、あんサポや居宅管理指導にて薬剤師の介入、布団の乾燥、ふれあい収集、配食サービスなど、必要な資源の活用が出来ている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	3			6
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	3			3
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	4			6
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	4			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・前期よりも、記録のICT化で記録が多くできるようになった。レクや会話の中で新たな情報があった場合は記録し、気になることがあれば気がかりシートに記入出来るようになった。 ・あんサポや居宅管理指導にて薬剤師の介入、布団の乾燥、ふれあい収集、配食サービスなど、必要な資源の活用が出来ている。 ・コロナ対策もあり、地域の方々との話も少なくなっているが、包括の職員から得られた情報等は記録に載せている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・家族と同居の方は、本人の家庭での様子は把握できるが、独居の方は本人が毎回違う事言うため把握しづらい。 ・民生委員を把握していない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>住み慣れた地域でその方らしい自立した生活を継続していくために、インフォーマルサービスの重要性和、フォーマルサービスとの連携の必要性を学んで、地域での暮らしの支援を図っていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年 11月 2日 (15:00~16:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 山田・松田・精木・猪狩

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	1人	人	人	6人

前回の改善計画
利用者一人ひとりの気持ちや、希望に沿った活動ができる環境を作る。 全体会議でケース担当を中心に、その時の本人の状態やニーズにサービスが適切か見直す。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ケース担当が会議等でニーズや課題等を考え、職員同士で話し合いながらサービスを見直している。 ・認知症の進行や不安に思われている事などの対応について、臨機応変に話し合われている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5	1			6
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	2			6
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	6				6
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6				6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・あんサポや居宅管理指導にて薬剤師の介入、布団の乾燥、ふれあい収集、配食サービス(安否確認含む)など、必要な資源の活用が出来ている。 ・コロナ禍で通いを適宜訪問に切り替えるなど、その方に合わせたサービス調整を行った。 ・朝礼時や、日中の変化や気になったことは共有している。 ・ゆっくり静かに過ごしたい方の為にリラクセススペースを作った。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・コロナ禍により地域の資源を活かせていない。 ・ゴミ出し等、ご近所の方の協力もあればスムーズにいけるのではないかな。 ・なかなか通いに繋げることが出来ないことや入浴が出来ないことがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	ご利用者の支援の方向性が定まるまで(期間を決めて)は、柔軟な支援をしていく。また、地域の資源を活用して多機能性ある支援が出来るようにしていく。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年 11月 2日 (15:00~16:00)

6. 連携・協働

メンバー 山田・松田・精木・猪狩

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	人	5人	6人

前回の改善計画	学童などの活動で、利用者が一緒に参加出来ることがあるか情報収集を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・コロナの影響により学童等の活動が実施されず、地域の情報を確認していたが軒並み中止のため、情報収集が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	6				6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	6				6
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?				6	6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?				6	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・運営推進会議にて、多方面から意見が聞けている。またサービスに繋げている。 ・担会に福祉用具等他事業所の方なども同席している。必要に応じて連絡・連携している。 ・ケアマネが認知症初期集中支援チームの会議や地域ケア会議に出席している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・コロナ禍で活動やイベントが中止のため参加出来ない状況。(交流会、せきざわ横丁、PU体操など含む)
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) with コロナにて参加できそうな地域の活動やイベントの情報収集を行い、消毒や三密の回避、参加時間短縮等を検討し、地域向けの活動開催や参加に努める。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年 11月 2日 (15:00~16:00)

7. 運営

メンバー 山田・松田・精木・猪狩

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	人	人	6人

前回の改善計画	「地域の拠点施設」であることについての意識が向上するように、事業所のあり方について職員同士で意見交換や勉強会を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・コロナによって地域との関わりを制限していたため、事業所のあり方について意見交換や勉強会を行う機会がなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	4	2			6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6				6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6				6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	1	1	2	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・朝礼時に上司も出席しており、日ごろから話し合うことができているため意見を言いやすい環境である。 ・コロナ禍で横丁やPU体操が出来ないが、苑の前や出先で地域の方々に会った際に、生活状況や要望など伺うことやちょっとした会話をして交流を図っている。 ・利用者に関わる方々や地域の方から意見や苦情は、すぐに職員に伝えられるため、職員の行動にも反映されている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の方々からPU体操の再開予定など聞かれるが、応えられない。 ・コロナの影響でせきざわ横丁やパワーアップ体操などが実施できない状況により、地域の方から意見や相談が受けられない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
With コロナの中で地域の拠点施設として出来ることについて職員同士で話し合えるように勉強会を開催し、意見交換を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年 11月 2日 (15:00~16:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 山田・松田・精木・猪狩

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6人	人	人	人	6人

前回の改善計画	気がかりシートを仕組化して、リスクマネジメントの強化に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・毎週金曜日に朝礼で気がかりシートを読み上げ、普段見逃してしまう小さなこともみんなで共有でき、意識の向上につながっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6				6
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	1			6
③	地域連絡会に参加していますか	6				6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	6				6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・毎回法令研修は実施している。 ・外部研修はオンラインにて参加している。 ・運営推進会議にて、多方面から意見が聞けている。またサービスに繋げている。 ・送迎や介助中にもどうすれば危険が少なくできるか考えながら行動している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナ禍で外部研修にあまり参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
事故報告書やヒヤリ・ハットと同様に気がかりシートについても、業務日誌に対策を記入していくなどの仕組みを確立し、リスクマネジメントの強化に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年 11月 2日 (15:00~16:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 山田・松田・精木・猪狩

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	人	人	人	6人

前回の改善計画	個人情報の取り扱いを明確化し、適切に個人情報が管理できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・個人情報シートは鍵付きの引き出しで管理・保管している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	6				6
②	虐待は行われていない	6				6
③	プライバシーが守られている	6				6
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	2			6
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6				6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束や虐待、プライバシーの保護は研修を行うことで実際に適切な対処が来ている。 ・毎月会議にて不適切ケアについて振り返り、日々のケアについて確認している。 ・個人情報シートは鍵付きの引き出しで管理・保管している。 ・生活の中で価値観を尊重し、入浴や排せつ時等は特に配慮してプライバシーの保持をしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見制度の研修を行っているが、現在対象の方がいない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
不適切ケアの意識を高めるためスピーチロックについて学び、コミュニケーション技術の向上に努めていく。	